



自炊派は7割以上 新入生の食生活

夕食を主に外食で済ませようと考えるのは親元を離れた新入生の二割弱で、七割以上が「自炊派」――。日経産業地域研究所がこの春に新生活を始める大学、短大、専門学校の新入生に暮らし方やそろえる商品を聞いたところ、マメで堅実な若者像が浮かび上がった。

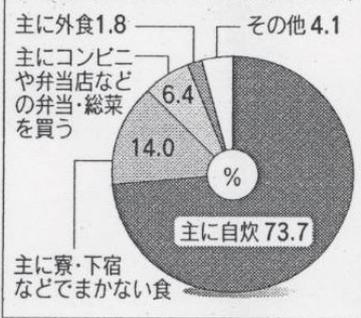
「講義のある日の夕食をどうするか」の質問に対して「主に外食」と答えたのは、親元を離れた人全体の一・八%しかない。「主にコンビニや弁当店などの弁当・総菜」という中食派も六・四%にとどまり、七三・七%が「主に自炊」と答えた。自炊派は女性でほぼ八

新入生の食生活

産地研調査から
男性でも六七・八%と七割近くに達した。

自炊に取り組む背景には厳しい懐事情もあるようだ。東京地区私立大学教職員組合連合によれば、昨春首都圏の私立大・短大に入学した学生への仕送り額は調査を始めた一九八六年以

大学などの新入生は夕食をどうするか(親元を離れた人、講義のある日)



夕食自炊7割、家電充実

洗濯機(六八・七%)と白物家電も上位に並ぶ。男性でも炊飯器が六五・二%、洗濯機も六七・〇%に達し、男子新入生の三分の二程度は、新居で炊事や洗濯ができる状態にある。

一方「据え置き電話」を置く人は九・二%。連絡先は携帯電話のみというスタイルがすっかり定着したようだ。

一人暮らしを始める人に限った場合、新しい住まいは「バス・トイレ付きの賃貸マンション・アパート」が約八割の七九・二%。家賃は全国平均で四万七千九百十九円、住まいが都内の人では五万八千三百七十七円と六万代ではないようだ。

▼調査の方法 マクロミルに委託し三月にインターネットで実施。回答者は親元を離れた新生活を始める全国の大学、短大、専門学校入学予定者二百七十一人。データは男女の平均値を使用した。

「学校の勉強以外で特にやりたいこと(複数回答)」では「アルバイト」が五四・九%で、恋愛や遊び、旅行関連の項目を大きく上回った。まずは住居中心の生活態勢を整え、仕送り額が切り詰められているのである程度は稼ぎ、外での支出は減らすというところかもし

2008年2月7日 京都新聞より

自炊に取り組む背景には、厳しい懐事情があるようです。学生ハウジングでのお部屋探しにおいても、バス・トイレ付きの賃貸マンション・アパートを希望される一方で、家賃は4万円前後の安めのマンションを希望する人が増加するといった特徴が見られます。